

令和4年度の研究(または活動)内容

地域経済研究所（以下「本研究所」という）は、2022（令和4）年5月27日に、東北工業大学プロジェクト研究所として新規に設置されました。本研究所の目的は、地域・地場産業振興研究拠点として、中小企業の経営支援活動と地域産業の振興にあります。本研究所のユニークな特徴としては、宮城県中小企業家同友会と密接に連携しながら、中小企業の経営実態の調査や産業振興、さらに、脱炭素経営およびSDGs経営に係る啓蒙活動にあります。

本研究所の設置当時は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大が継続しており、地域に根差した研究活動ができませんでした。しかし、本研究所においては、コロナ禍の状況を見据えながらも、宮城県中小企業家同友会との連携活動を推進するために、2023年3月7日に、記念すべき第1回地域経済フォーラムを長町キャンパスにて開催することができました。そこでは、「地域経済と中小企業」をテーマとして、宮城県中小企業家同友会代表理事の鍋島孝敏氏に「地域経済における中小企業の課題と展望」と題する基調講演をしていただきました。また、鍋島氏の基調講演を受けて、東北放送株式会社の芝田正氏（本研究所員）から、東北放送が取組む環境・SDGs・エネルギー分野等に係る取組み事例を話題提供していただき、参加者11名とともに有意義なディスカッションを行うことができました。

【株式会社オイルプラントナトリの工場見学】

2022年10月25日(火)13:00~16:30、本研究所の所長であるMC学科の川島研究室では、3年生8名を引率して、株式会社オイルプラントナトリの工場見学を行いました。

株式会社オイルプラントナトリは、産業廃棄物を収集運搬し、リサイクル（再資源化）を目的とした中間処理を行っています。また、再生品の販売や新規事業として廃食用油の燃料化事業（バイオディーゼル燃料の精製）に取り組んでいます。工場見学では、代表取締役社長の武田洋一氏から廃棄物の発生抑制、減量化、資源化の促進について丁寧なご説明をしていただいた後、実際に工場内の施設を見学させていただきました。

川島研究室3年生8名は、企業経営における環境保全活動の重要性と、循環型経済（サーキュラエコノミー）の必要性について、工場見学を通じて理解を深めることができました。



工場内の施設見学



参加学生と武田社長との記念写真

【第1回地域経済フォーラムの開催】

2023年3月7日(火)14:00~16:20、長町キャンパス1号館3階(R137教室)において、対面形式により、第1回地域経済フォーラム「地域経済と中小企業」を開催しました。

当日は、第1部として、宮城県中小企業家同友会代表理事の鍋島孝敏氏に「地域経済における中小企業の課題と展望」と題する基調講演をしていただき、続いて、第2部として、東北放送株式会社の芝田正氏(本研究所員)から、東北放送が取り組む環境・SDGs・エネルギー分野等に係る取り組み事例を話題提供していただき、参加者11名とともに有意義なディスカッションを行いました。活発な意見交換が行われ、予定終了時間を20分延長しました。

鍋島氏は、「豊かな国民生活を支えるのは地域に根差した中小企業！(地元企業)」であることを強調され、そのうえで、中小企業は地域社会と密接につながり、顧客や地域と共生していくために、何か特別なことを始めるのではなく、自社の本業にまつわる地域の課題を、自社事業を通じて解決していく取り組み(小さなことから)の必要性を指摘されました。

なお、この第1回地域経済フォーラムの開催に先立って、本研究所が地域と共につなぎ発展していくコンセプトの可視化に向けて、産業デザイン学科3年生(馬場桜華さんと戸田遥さん)に、本研究所の封筒やクリアファイル、研究所員の名刺について、VI(Visual Identity)デザインとしてロゴやアプリケーション類のデザインを担当してもらいました。



CD 学科3年生によるVIデザインの説明



本研究所のマークとロゴ入りの作品紹介



宮城県中小企業家同友会代表理事の鍋島孝敏氏による基調講演

